



表現力豊かに英語で発表 真庭地区中学校・高校 英語スピーチコンテスト

主催の真庭ロータリークラブ社員と記念撮影



堂々としたスピーチをする高校生



身振り手振りを交えて全身で表現

どろっと まにわ 真庭

11月3日、久世公民館を会場に第21回真庭地区中学校・高等学校英語スピーチコンテストが、真庭ロータリークラブの主催で開かれました。コンテストには真庭市内の中学校と高校から合わせて22人が参加しました。参加者は、中学生の暗唱の部、スピーチの部、高校生のスピーチの部で、英語での表現力や発音の正確さを競いました。生徒たちは本や写真などを使ったり、身振り手振りを交えたりして表現をしながら発表を行いました。

**清楚で気品ある菊を楽しむ
真庭大菊花展**

11月2日から5日まで、下市瀬のハイランドおちあい特設会場では真庭大菊花展が開かれました。菊花展は、真庭菊花愛好会が、会員が養った菊づくりの技術を披露する場として毎年開いていて、今年で27回目です。会場には大輪菊や総合花壇など、真庭菊花愛好会の会員17人が育てた菊約600鉢が展示されました。会場を訪れた人たちは、会員が慈しみながら育てた、清楚で気品に満ちた菊の花を楽しんでいました。



大輪菊の美しさに惹かれるように眺める人たち



みんなが注目するフライングディスクの行方は

**障がいになげず楽しく交流
真庭地域ふれあいスポーツフェスティバル**

10月27日、障がいのある人や、その家族らがスポーツを通して交流する真庭地域ふれあいスポーツフェスティバルが開かれ、真庭市と新庄村の幼児から80代までのおよそ150人が参加しました。参加した人たちは、3つのチームに分かれてディスクゲッター競争や玉入れなどの競技を行いました。得点が入ると、チームメイトと手をたたいて喜び合う姿も見られ、わきあいあいと交流を楽しんでいました。

10/26 共に支えあうことが大切

宮本宇多榮さん(下河内)が10月25日に百歳を迎えられました。真庭の良い空気の中かで若い頃から健康に気を遣い、周囲のみんなに助けられながら、共に支えあえたことが、長寿の秘訣だそうです。



10/27 後谷地区のご神木にお別れ

後谷神社の三宝荒神のご神木として、後谷地区の人たちに親しまれてきたカヤの大木(推定樹齢250年~300年、高さ約22メートル)が、倒木の危険があるため、お祓いの神事を経て、伐採されました。



10/30 美甘地域の空き家活用事業報告会

地域活性化のため活動を行う任意団体「グランパ美甘」の空き家活用事業の取り組み報告会が開かれました。同団体は美甘地域の空き家116軒を調査。今後も空き家を増やさないための活動を続けます。



11/1 国道313号の道路工事現場見学会

蒜山地域の国道で行われている大規模な工事現場の見学会が行われました。今回は勝山高等学校蒜山校地の生徒が工事現場に集まり、測量器具の使い方を教わるなど、建設業の説明を受けました。



11/10 真庭の文化をみんなで考える

真庭の文化を継承・発展させる、また新しい文化を創出し、それを担い支援する人材の育成を狙いに、真庭エスパス文化振興財団が初開催。参加者は、人と人の関わりが広がる文化活動に必要なことを考えました。



演技について打合せをする参加者とスタッフ

映画制作を体験 真庭「映画づくり」プロジェクト

11月3日、勝山小学校で真庭「映画づくり」プロジェクトの映画撮影が行われ、市内の小学生から高校生7人が撮影に臨みました。プロジェクトは7月から行われていて、この日、参加者は講師の山崎樹一郎監督の指導の下、自分たちで作ったシナリオを形にしようと、熱心に取り組んでいました。映画は「ザマーミロ」というタイトルで、約7分の作品になる見込み。12月8日の午前10時から中央図書館で上映されます。



力いっぱい相撲をとる園児

30年以上続く相撲場所 防火ちびっこすもう大会

11月8日、富原保育園で全国秋季火災予防運動にあわせて、「防火ちびっこすもう大会」が開かれました。この行事は30年以上前に、防火マラソン大会に替わって始まり、園が消防署や消防団、地元の指導者などと協力し行う恒例行事となっていました。園児たちは、「ゆめにしき」や「とりけらともき」などの四股名で土俵に上がり、保護者の声援を受けながら力いっぱい相撲をとっていました。